

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第 2 号を送付します。

令和 4 年度病虫害発生予察注意報第 2 号

令和 4 年 7 月 14 日  
高知県病虫害防除所長

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)

- 1 対象作物 果樹全般(ナシ、カキ、ブドウ、カンキツ類)
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 7月中旬以降
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠

- (1) 県内4地点で実施している果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査における誘殺数は、6月中旬以降、県東部、中西部、西部で平年より多く、特に西部においては、7月上旬の誘殺数は 2,520 頭(平年同時期 155.4 頭)と、かなり多い状態で推移している(図 1、表1)。
- (2) 令和4年7月7日発表の四国地方1ヶ月予報では、7月の気温は平年より高く、また期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されていることから、果樹カメムシ類の増殖に好適な条件となり、果樹園への飛来および加害が増加するおそれがある。

6 防除対策

- (1) 果実を吸汁されると落果や奇形果の原因となるので、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。無袋栽培のナシやブドウ、極早生の温州ミカン、カキなどでも、カメムシが飛来し果実を加害する可能性があるので注意する。
- (2) 果樹カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域や園地による差が大きいので、園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。園地への飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向があるので特に注意する。

(3) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>) に掲載しているので、果樹園での発生の参考にする。防除等は県防除指針(高知県農薬情報システム(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>))内に掲載)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

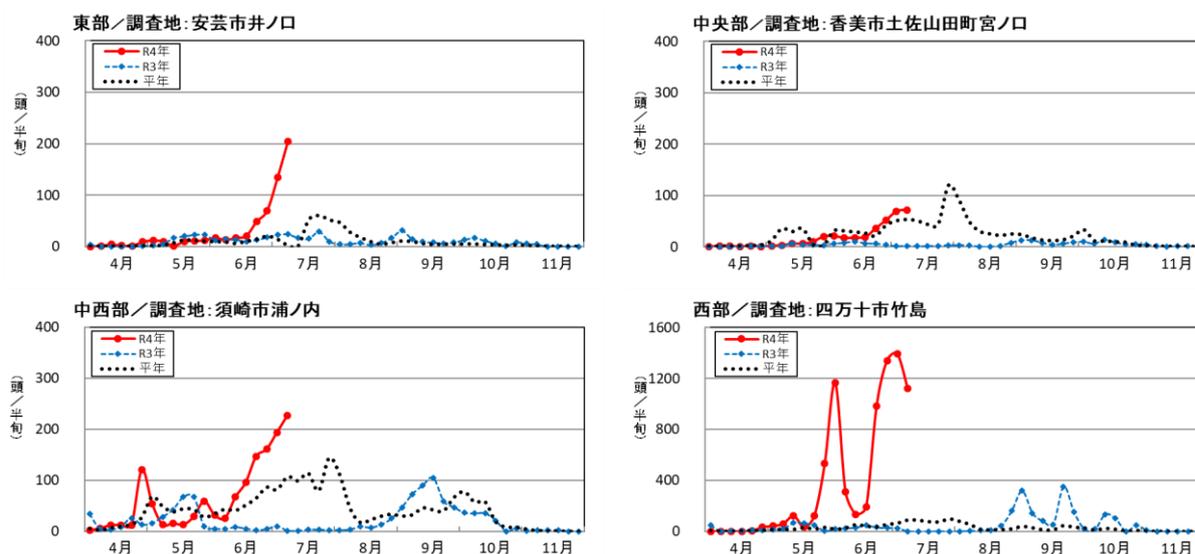


図1 果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数の推移(令和4年度)

東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町宮ノ口、中西部:須崎市浦ノ内、西部:四万十市竹島

誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計

平年値は平成24年～令和3年の10ヵ年平均

表1 過去10年間の果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(7月上旬)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
東部	32	2	21	174	0	2	16	496	14	47	339
中央部	88	4	186	515	2	5	37	114	84	3	141
中西部	765	30	172	584	4	26	118	160	14	11	421
西部	114	6	6	647	2	3	5	734	9	28	2,520

お問い合わせは、病害虫防除所(TEL:088-863-1132)または環境農業推進課(TEL:088-821-4861)まで